



おう穴けつってなあに

川底かわぞこの岩がんばんなどにみ見られるあな穴

川底かわぞこや海岸かいがんの岩がんばんに、水みずがめまるのような、丸まるい大おおきな穴あながああいていることがああります。これこれを、おう穴けつ（かめ穴あな）といいいます。

穴あなの大おおきさや深ふかさはいろいいろろですが、穴あなの中なかに丸まるくないった石いしが、入はいっていることが多おほいのです。

岩がんばんのくぼみいしに、石いしが入はいってできる

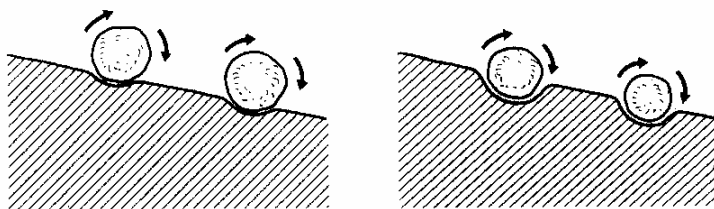
川底かわぞこの岩がんばんの表ひょうめん面に、ちよわつとした割めれ目めやくぼみあおがあると、川かわの水みずのけけずるはたたらきによよって、ままわりよりもはやくけけずられて、くぼみあおが大おほくくななっていきいます。

このくぼみいしに石いしがころがころりここむと、水みずの流ながれで石いしが回かいてん転てんして、だだんだん丸まるい穴あなにななってききます。

石いしの回かいてん転てんでけけずられた穴あなが深ふかくなると、穴あなの中なかに入はいった石いしは、穴あなの外そとに出でることができできななくなりなります。すすると、穴あなの中なかの石いしは水みずの流ながれによよって、いいつも回かいてん転てんしているのので、だだんだん穴あなが大おほくくななってききます。

日本にっぽんでは、木き曾そ川がわの寝ね覚ざめめの床とこのおけつう穴あな、荒あらかわ川がわの長なが瀬とるのおけつう穴あななどなどが有ゆう名めいです。

川底かわぞこのくぼみくぼみで、石いしが回かいてん転てんしてできる。



おう穴

